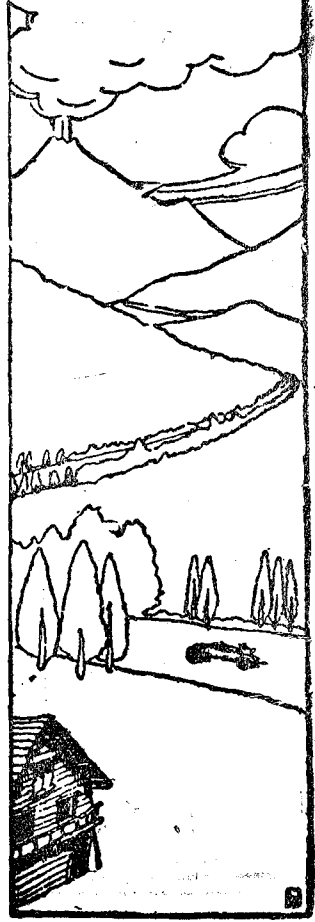
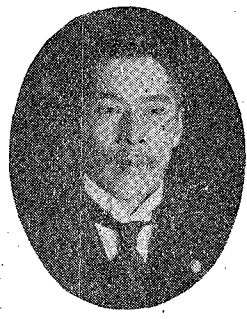


論 說



聯絡の缺けた道路政策

農村の發展は木に據つて魚を求むる如し



衆議院議員 堀田義次郎

國家の最大重要な交通機關たる鐵道は、國有と私有の二つになつて居る。國有鐵道は既に鐵道網の大綱も定まり、夫々の計畫に對する繼續費も確定されて、全國に互つて順次計畫の遂行が出来て、追々完全な域に達しようとして居る。又地方に於ても私設鐵道の計畫は日に多きを加へ、是亦年を遡うて普及の

趨勢にあることは洵に慶賀すべきである。併しながら此の公私鐵道網と連續して發達普及しなければならぬ所の國道府縣道市町村道等は、今尙ほ現に不完全極まるものであつて、我國道路政策の不行届なるは慨歎に堪えない、先づ國道に就いて謂つて見ると、路線の認定も既に確定し、其の改修國道約二千里、軍事國道約七十里、特殊の府縣道約四百里、其他を爲すべき國費の負擔金を見るに、二億九千萬圓を支出する筈である、而して此の二億九千萬圓の國費は將來三十箇年に亘つて支出されるのである、して見ると一箇年の支出額は極めて少額に相當するので、到底此の全國に亘る國道の改修を急速に實施することは出来ない。

況んや此の國道建設費の一半は、之を地方府縣の負擔たらしめる關係上、現在の如く各地方ともに財源の涸渴して居る折柄、國庫からは既定の金額を支出はするとしても、各府縣の負擔が之に堪えないから、我國の國道改修の前途と云ふものは、實に遼遠なりと斷ぜざるを得ない、又府縣道に就いて見ると、是は建設も改修も全然各府縣の負擔に歸すべきものに屬するが、扱全國を通じて交通上から之を遠觀すると、實に言ふに忍びない、幅員僅かに九尺程度の府縣道が大部分を占めて居る、今や國民經濟の發展文化の進歩に伴つて、益々伸張する國情から、此の公私鐵道網の發達と對照して考察すれば、到底斯の如き不完全の道路を以てしては、畢竟するに全く連絡を缺ける交通政策なりと謂はざるを得ない。而して府縣道をして公私鐵道の發達に伴はしむる爲に要する所の經費は、頗る莫大の金額を要する、今假りに各府縣の府縣道を現行道路法の規定に依つて、其の最小限度に於て改良する計畫を立つるとするも、一府縣の所要額は約一億餘萬圓を要する、而して各府縣が毎年百萬圓宛を支出し得るとしても、其の完

成までには今後百年の日子を要することになる、而かも漸く現行道路法の規定に準據して、其の幅員の如きも公私鐵道に對する連絡上に僅かに間に合ふ位の程度のものに過ぎまいと思はれる、而して一面、今後百年の間に發展する文化の進歩に伴つて鐵道その他交通機關の整備は、必ずや顯著のものがなければならぬとすれば、叙上の如き遅々たる府縣道の狀態を以てするとせば、其の懸隔は實に天地霄壤の差を生じて、我國の交通上の系統といふものは、全く混亂に陥るものと思ふ。

二

今や政府は、其の消極の見地よりして府縣補助金の繼續を削除し、一般會計より一年僅かに三百萬圓程度の支出を爲す方針のやうだが、开は全然府縣道改修の根本方針を破壊するもので、將來に於ける府縣道の發展は全く阻止せられた觀がある、斯の如くして地方の發展、或は農村の振興を期待せんか、所謂木に據つて魚を求むるの類に過ぎない、政府は斯かる僅少の金を支出して、尙ほ且つ地方府縣を督勵して、國縣道の改修を獎勵すると揚言するけれども、政府の補助たるや一年限のものであつて、今後は別に繼續的に國庫の負擔となるべき契約を府縣と締結するでなければ、府縣の繼續費は到底之を組立て、府縣會の承認を求むることは不可能の事情にある。

又鐵道の問題に就ては、政府は既定計畫を變更して二箇年延長をした、加之其の大體の經費に就ては之を認めて居る、獨りこれと密接の關係を有する道路の經費に就てのみ、前述のやうな方針を立てると云ふは、政府各省所管事務の不統一のみならず、技術的に全く國家交通機關の設備を紊亂し、之を破壊す

るものと言はざるを得ぬ、今後若し此の状態を以て進むとすれば、前述の通り今後凡そ百年を要することゝなるか、或は何百年を必要とするか殆ど際限はない實に前途遼遠、國家の爲め頗る遺憾至極である。

三

加之國家は鐵道の計畫に關しては現在の鐵道の改良を主とし、新たなる建設を従とするが如き政策であるが、今その説明するところを聽けば、一面に於て盛んに地方的鐵道を延長すれば、其の地方的鐵道を通過して幹線に集る貨物及び旅客の如き、自から非常に増加するが故に先以て幹線の改良を施し、而して後徐ろに地方的鐵道の建設普及を圖るべしと云ふ趣意に基くやうに思はれるが併しながら、地方的鐵道の淵源たるべき國道府縣道の改修が、如上の如く不完全であつて、而も數百年後を俟たなければ、完成しない状態であつたならば、隨つて地方的鐵道の發達も當然延期されるものとなつて、既設中央幹線の改良を主として實施することは、全く無意味な事になりはしないか、由來中央幹線鐵道を培養するものは地方的鐵道であり、地方的鐵道を培養するものは地方の國道府縣道であるとするならば、先づ地方的鐵道の完成を速進すると共に、地方の國道府縣道の改修を奨励して、兩々相俟つて中央幹線及び地方的鐵道の利益を増進するものである。然るに地方的鐵道の速成を延期し、地方の國府縣道の改修を殆ど絶望たらしむるが如き政策は、國民經濟の發達を圖り就中地方農村の振興を圖る上から考へて、全然矛盾の政策と考へる。

又帝國議會に於ける各政派の如きも、唯だ地方的鐵道の速成問題に就ては、非常なる熱心を以て政府

當局に迫つたにも拘らず、國府縣道以下道路の改良費に就ては殆ど之を忘れられたる状態にあるは、何故なるか、自分は非常に之を怪しむ者である、又内務大臣の如き、何故に先年既に決定せられ、又多年實行し來つた道路改良計畫に依る補助費の削減に同意されたであらうか、吾々は極力内務省を刺戟し、尠くとも豫定の計畫を復活して、一日も速かに地方府縣道の改良發達を速進しなければならぬ、道路改良會は此の點に向つて從來非常に努力されつつあるやうだが、更に改良會關係各位に對つて數層の御奮闘を切望する次第である。(完)

◎貴族院豫算委員會速記録より

阪本彰之助君 人心が荒んで居る、即ち荒怠して居ると云ふことに付てもう少し内務大臣から伺ひたいと思ひます、昨年特別議會の時分に、大都市の人心緩和には、公園などを御申した所が、相當の機會に於て整理すると云ふことの御答を得て居るので、爾來今日に至りましては、新聞等には時々幾日限り取拂ふと云ふことがありますが、相變らず芝公園でも、日比谷公園でも、其他を歩見ましても、誠に忌はしき状態をまだ存して居るのであります。小さいことですが、市民快樂の最も清潔にして愉快であるべき場所、誠に氣の毒な人達ではありまして、汚なき飲食店を開き若くは機織を干して居ると云ふ思ふの場所がありますが、それが相變らず、誠心、誠意に影響するものであらうと思ふのであります。道路を歩いて見ますと、一度び雪でも雨でも降れば、實に泥濘を是等没するやうな勢いで、漸く天氣になつて先づやれ、と思ふと、今度は撤水夫が出て來て雨以上水を撒くので、私など電車で往復する身の上でありまして、折角天氣になつて安心して居ると、是等はどうか一つ、何か取締りの出來るやうに御心配に預りたいもので、ばならぬ、是等は、大體政府の監督に依る所であるので、是等はどうか一つ、相成るべくは御扱ひ振りを承りました、故に、國務大臣(若槻禮次郎君) 道路の事柄も震災後隨分東京の道路は一般に悪くなつて居ります、著手して居りまして、隨分方々に交通の上、於て妨害を興へて居ります、併し、巴も、得ないに、市役所、成るべくは氣を付けて居るやうな次第でありませぬ、水撒のことも御話になり、も亦、巴も、得ないに、市役所、成るべくは氣を付けて居るやうな次第でありませぬ、水撒のことも御話になり、つたやうな方面に向つても、警視廳、又警視廳を通じて市役所、成るべくは氣を付けて居るやうな次第でありませぬ、水撒のことも御話になり、があるから、相當に注意は致して居るのであります、但し、大體水撒の車など、云ふものも改良しませぬければ、或は改らぬこと